「スマ保安心さいくる」アプリ利用規約

第１条（利用規約の目的及び適用）

本サービス利用規約（以下「本利用規約」といいます。）は、三井住友海上火災保険株式会社（以下「当社」といいます。）が管理・運営するスマートフォンアプリ「スマ保安心さいくる」内で提供するあらゆるサービスをサービス利用者（第２条にて定義します。）が利用するにあたり、当社とサービス利用者との権利義務関係およびその他本サービスの利用条件等を定めることを目的とします。また、本サービスの利用の結果として、リンクしている他のアプリをご利用いただく場合については、そのアプリ毎の利用規約が適用されます。「スマ保安心さいくる」をダウンロードもしくは使用することにより、サービス利用者は本利用規約の内容を承認し、これに同意したものとみなされます。

第２条（用語の定義）

本利用規約内の用語の定義は以下に示す通りとします。

(1)「本サービス」とは、「スマ保安心さいくる」において提供しているサービスをいいます。

(2)「サービス利用者」とは、「スマ保安心さいくる」を利用するすべての者をいいます。

(3)「知的財産権」とは、特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産権に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益にかかる権利をいいます。

第３条（利用料金）

本サービスの利用料金は無料です。ただし、本サービスの利用に関わる通信料はサービス利用者負担となります。

第４条（本利用規約の変更等）

本利用規約は、サービス利用者の皆様に事前に告知することなく、任意に変更できるものとします。また、変更された本利用規約の効力は、変更後の本利用規約が「スマ保安心さいくる」上に掲載された時より生ずるものとします。サービス利用者が本サービスを利用した場合には、当該変更の内容に同意したものとみなされます。

第５条（個人情報の取扱い）

１．「個人情報」とは、「個人情報の保護に関する法律」にいう「個人情報」を指すものとし、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、住所、電話番号、連絡先その他、特定の個人を識別できる情報を指します。

２．サービス利用者が本サービスを利用するにあたり、サービス利用者を特定しなければならない場合や当社に問い合わせをした際に連絡先の確認が必要となった場合などには、当社が氏名、生年月日、住所、電話番号などの個人情報を取得することがあります。 個人情報の取扱いに関する詳細は当社のプライバシーポリシー（三井住友海上ホームページ http://www.ms-ins.com/privacy/index.html）をご覧ください。

第６条（サービス利用情報の取得・利用）
当社は第５条で定める個人情報の他に、本サービスで入力した情報（サービス利用者の性別、生年月日、体重など)、本サービスの利用を通じて得られるログ情報（GPS による位置情報等）を取得します。また当社が管理・運営するスマ保からサービス利用者による操作により、Google Analytics を使用して使用機種情報ならびに利用履歴を人を特定できない形式で取得します。

これらの情報は第５条で定める個人情報とは別々に保管され、「本サービスの改善・新機能の追加」「新規サービス・商品の開発」、等の目的で利用します。また、第三者へのマーケティングデータとして提供する場合があります。

第７条（掲載情報等の開示）
当社は、裁判所、検察庁、警察、又これらに準じる公的機関より要請を受けた場合、または法律上必要な場合には、サービス利用者の個人情報を含む情報等を開示する場合があります。

第８条（権利帰属）
当社アプリ及び本サービスに関する知的財産権は、すべて当社又は適法な権利者に帰属しているものであり、サービス利用者が本サービスを利用するにあたり、サービス利用者に対して、当社又は適法な権利者の有する当社アプリ及び本サービスに含まれる知的財産権の利用（プログラムの複製）を許可するものでありません。

第９条（禁止行為）
サービス利用者が行う「スマ保安心さいくる」の利用に関しまして以下のことを禁止いたします。
(１)犯罪的行為・詐欺的行為に加担し、又はこれに結びつく行為
(２)当社または、第三者の知的財産権、肖像権、名誉、プライバシー権、その他の権利又は利益を侵害する行為
(３)未成年者を害するような行為
(４)虚偽の記載をする行為
(５)他人を誹謗中傷する行為
(６)公序良俗に反する行為
(７)詐欺的行為
(８)他人に精神的・経済的被害を与える行為
(９)商業目的（使用、複製、複写、販売など）で本サービスを利用する行為（本サービスを私的利用以外に用いる行為を含みます)
(10)保険やその他金融商品の勧誘募集行為
(11)有害なコンピュータプログラム等をアップロード、送信又は書き込む行為
(12)プログラムの改変、又はリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルする行為
(13)本サービスの全部又は一部を複製、複写する行為
(14)本サービスの運営を妨げ、当社の信頼を損なうような行為

(15)他のサービス利用者の個人情報を収集したり、蓄積したりする行為
(16)その他、本サービスの利用目的に照らして当社が不適切と判断する行為

第 10 条（損害賠償）
当社は、サービス利用者の悪意の有無に関わらず、本利用規約の内容に違反した場合や不正に本サービスを利用したことで、当社に損害を与えた場合には、当該サービス利用者に対して損害賠償請求（弁護士費用を含む）を行う場合があります。

第 11 条（本サービス内容の変更等について）
当社は、本サービスの終了、一時的な中断、又はサービス内容の変更などの変更を事前の告知なく行う場合があります。これらが行われた場合でも、当社はサービス利用者又は第三者に生じた損害について一切責任を負わないものとします。

第 12 条（免責事項）
当社は、本サービスの利用に関して、以下に掲げる各事項の損害につきまして一切責任を負いません。
(１)サービス利用者が本サービスを利用し、又は利用できなかったことに関して被った損害
(２)本利用規約の変更等（第 4 条)、本サービス内容の変更等（第 11 条）によってサービス利用者に及んだ損害
(３)本サービスの利用によって、サービス利用者が第三者に及ぼした損害
(４)本サービスを通じて得られる情報の完全性、正確性、確実性あるいは有用性などによってサービス利用者に及んだ損害
(５)インターネット利用回線やコンピュータ等サービス利用者が使用する機器、ソフトウェア・ハードウェアの動作障害による本サービスにかかるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失、データへの不正アクセスなど、その他本サービス利用に関してサービス利用者に生じた損害
(６)本サービス中の書き込み等、他のサービス利用者や第三者による発言その他の迷惑行為による損害
(７)ダイヤルアップ接続や不正アクセス、その他本サービスの利用の際に発生した電話会社又は各種通信業者より請求される接続に関する費用などの損害
(８)本サービスの利用上においてサーバー停止などの障害を発生させたことによるクレーム、紛争、損害賠償の請求などが起こった場合の損害
(９)その他、本サービスの利用に関連して生じた一切の損害

第 13 条（他サイトへのリンクについて）
当社は、本サービスに対してリンクしている他のアプリ、ウェブサイト等（本サービス中にリンクしているものを含む）に起因する一切の事象に関しまして、何らの責任を負わないものとします。

第 14 条（準拠法・管轄裁判所）
本利用規約は、日本法に基づくものとし、本サービス又は本利用規約に関連して当社とサービス利用者との間で紛争が生じた場合、東京地方裁判所を第一審専属的合意管轄裁判所とします。

第 15 条（利用規約違反の通報について）
本利用規約に違反する行為等を発見された場合には、当社までご連絡ください。

第 16 条（注意事項・制限事項）
サービス利用者は、「スマ保安心さいくる」の利用に関しまして、以下に掲げる注意事項と制限事項に同意のうえ、本サービスを利用するものとします。
１．注意事項
(１)本アプリを自転車運転中に操作する行為は大変危険ですので、絶対に行わないでください。自転車を安全な場所に停止させてから操作してください。
(２)基準速度は車道を運転する際のあくまで目安となる上限速度です。交差点や交通量の多い道路や標識・標示により歩道通行が認められている歩道を運転する場合など、基準速度以下の速度でも危険な運転となることがありますので、実際の交通・道路環境に応じて安全な速度で運転してください。
(３)スマートフォンの温度が上昇し、運転記録機能が自動的に中断される場合があります。
(４)アームバンドを利用して画面発光機能や防犯ブザー機能を使用する場合には、自転車運転の妨げにならないよう、アームバンドは腕にしっかりと取り付けてください。
(５)画面発光機能は、道路交通法等に定める前照灯の代わりになるものではありませんので、夜間の運転では、必ず本アプリの画面発光機能とは別に前照灯を灯火してください。
(６)スマートフォンの取扱説明書に記載されている温度、湿度の範囲内でご使用ください。直射日光が強くあたったり、炎天下などの高温・多湿下での使用、保管、放置はやけどや機器の変形、電池の液漏れ、故障、発熱、破裂、発火、性能や製品寿命の低下の原因となります。特に、雨天時のアームバンド利用による使用は故障の原因となりますので控えてください。
２．制限事項
(１)道路・通信環境によりＧＰＳデータが取得できず、現在地データの取得ができないことがあります。また、運転記録が正しく記録されないことがあります。
(２)運転記録中に電話やメール、その他のアプリ起動により、運転記録が中断される場合があります。
(３)道路・通信環境によりＧＰＳデータが取得できず、速度超過していない場合でも、速度超過として記録される場合があります。
(４)スマートフォンの機種によって、運転記録に誤差が生じる場合があります。
(５)自転車安全整備店の情報は、公益財団法人 日本交通管理技術協会に登録されている情報を利用していますが、常に正確な情報を保証しているわけではありません。
(６)本アプリで取得した運転記録データにより、スマートフォンのデータ容量が増加し、スマートフォン自体の操作面において制約が生じる場合があります。

（附則）　この規約は 2014 年 10 月 1 日から実施します。